

# 友達におすすめの国のプレゼンテーションをしよう。 【話すこと（やり取り）】

（6年 外国語科）

ツール・機能：端末のピクチャーツールやプレゼンテーションソフト

端末のカメラ機能

分類：思考活動・協働活動・調査活動



# ICT活用のねらい

---

- 1人1台端末を活用することで、自分が興味のある国について児童一人一人の思いに応じた調べ学習や制作活動ができます。
- 端末のピクチャーツールやプレゼンテーションソフト(PowerPoint)を活用することで、友達とのやり取りをする際、プレゼンテーションの中でスライドを動かしたり、詳しく見せたいところを拡大したりして資料を提示することができます。
- 相手の反応に応じて画像を選択したり、細部を見せたりしながら、その場でのやり取りを行うことができます。
- 完成したプレゼンテーションを保存することができ、学級でのやり取りだけではなく、他学年を対象とした発表の場や家庭での紹介など、学級の枠を越えた共有も期待できます。

# 学習の流れ（全8時間）

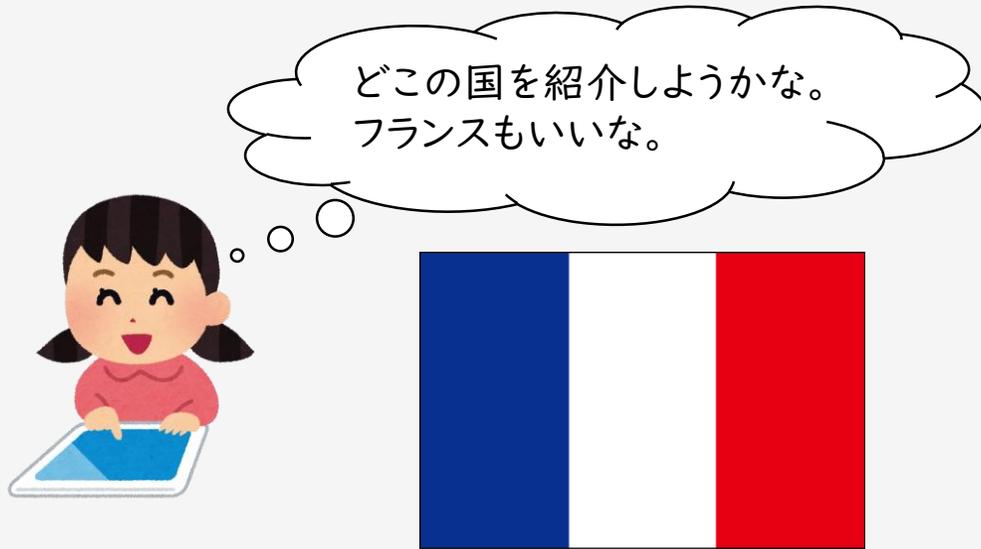
1時目	○国の名前の言い方を知ろう。 ・国のポインティングゲームをする。
2時目 3時目	○国を紹介する表現に慣れよう。 ・国名クイズをする。 ・国のポインティングゲームをする。
4時目	○紹介する国を知ろう。 ・紹介する国を調べる。
5時目	○紹介する国のプレゼンテーションをする準備をしよう。 ・調べたことを基に、内容を端末のピクチャーツールで画像をフォルダにまとめたり、PowerPointにまとめたりする。
6時目	○ペアでミニプレゼンテーションをしよう。
7時目	○友達に紹介する国のプレゼンテーションをしよう。
8時目	○紹介した国の紹介カードを作ろう。

ここで活用！  
活用場面(1)

ここで活用！  
活用場面(2)

ここで活用！  
活用場面(3)

# 活用場面(1) 5時目 紹介する国のプレゼンテーションをする準備をしよう。



You can see (建物).



You can eat (食べ物).

- ① 1人1台の端末で、自分が紹介したい国について、本単元で身に付けたい表現であるYou can see/eat/buy~.という視点で画像を検索することができます。
  - ② 検索した画像を端末のピクチャーツールでフォルダにまとめたり、PowerPointに貼り付けたりすることで、プレゼンテーションの資料を作成することができます。
- ※ 端末のピクチャーツールを使用する際は、学校の状況により保存先を指定してください。
- ※ 情報モラルに十分に注意し、画像の検索、貼り付けを行う必要があります。



You can see (建物).

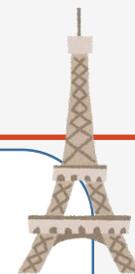
## 活用場面(2) 6時目 ペアでミニプレゼンテーションをしよう。

### ペアでミニプレゼンテーション

- ・聞いている友達にその場で質問をするなどやり取りをしながら進めていきます。
- ・その様子を友達に撮影してもらいます。



A: France is a delicious country.  
You can see the Eiffel Tower.  
B: Nice.  
A: You can see Mont Saint-Michel.  
B: What's this?  
A: This is *Syudouin*.  
B: Oh, beautiful.  
A: Do you like sweets?  
B: Yes, I do.  
A: Nice. You can eat macarons.  
B: Oh! Looks delicious.



### ミニプレゼンテーションの振り返り

- ・撮影した動画や実際のやり取りを基に、より伝わりやすくするためにはどうしたらいいかを話し合います。



始めに“France is a delicious country.”と言ってるから、先に“Do you like sweets?”と聞いた方がいいんじゃないかな？

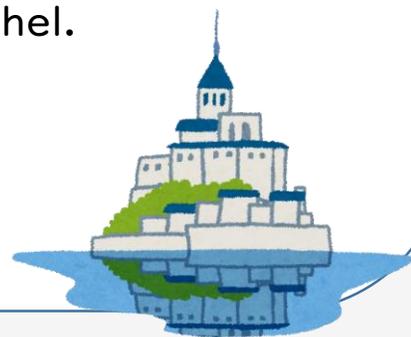
### プレゼンテーションの修正

- ・ミニプレゼンテーションの振り返りを基に、全体でのプレゼンテーションの準備をします。

- ☆1人1台端末を活用してプレゼンテーションを行うことで、画像を見せながらその場で質問をしたり、質問に答えたりするやり取りを行うことができます。
- ☆ミニプレゼンテーションを通して、表現に慣れ、自信をもって全体でのプレゼンテーションに臨むことができます。
- ☆ミニプレゼンテーションを撮影することで、児童がやり取りの様子を客観的に振り返り、その後の活動に生かすことができます。
- ☆ミニプレゼンテーションを撮影することで、教師が評価に生かすこともできます。

## 活用場面(3) 7時目 友達に紹介する国のプレゼンテーションをしよう。

A: France is a delicious country.  
Do you like sweets?  
B: Yes, I do.  
A: Nice. You can eat macarons.  
B: Oh! Looks delicious.  
A: Do you know the Eiffel Tower?  
B: No, I don't.  
A: OK! This one. (画像を見せながら)  
You can see the Eiffel Tower.  
The Eiffel Tower is three hundred meters.  
B: Really?  
A: Yes. Very very big.  
You can see Mont Saint-Michel.  
B: What's this?  
A: This is *Syudouin*.  
B: Oh, beautiful.



☆1人1台端末を活用してプレゼンテーションを行うことで、詳しく見せたいところは拡大したり、スライドを戻したりしながら、相手の反応に合わせてプレゼンテーションを行うことができます。

☆6時目にミニプレゼンテーションをしてから全体でのプレゼンテーションを行うことで、児童は英語でのやり取りへの抵抗感が減り、自信をもって活動に取り組む姿が期待できます。

☆プレゼンテーションの様子を教師も端末等で撮影しておくことで、児童の成長の様子を確認したり、評価(記録に残す評価)に生かしたりすることもできます。